

事業所職員向け
児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4		利用児童に対して十分なスペースが確保されている。
	2	職員の配置数は適切であるか	4		職員の配置は基準を満たしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4		活動しやすい生活空間になるように工夫している。医療的ケアの必要な利用児童が多いため利用児童にあった施設設備に工夫改善している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4		明るい雰囲気心がけ利用児童が安全に楽しく活動できるように掲示物等工夫している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4		定例の会議をもって活動内容について話し合っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		評価を実施し保護者の意見を踏まえて事業所の運営の改善につなげていっている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		評価については職員間で情報共有するとともにホームページで公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	第三者による外部評価を今後検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1	研修の時間が十分とれていない。今後研修の形を考え、研修の時間確保が課題である。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4		さらに利用児童の実態把握に努め、課題を見出す力をつけていくことが課題である。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1	1 重心児童 医ケア児童の実態把握についてさらに学習研修していきたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4		児童発達支援計画に沿った支援が行われている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		活動プログラムは職員間で検討作成している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		活動内容については話し合って固定化しないように工夫している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	4		児童の状況に応じて個別の活動と集団での活動を工夫して設定している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		支援前には職員間で打合せをし、その日の内容や役割分担について確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		支援後にはその日の振り返りを行い課題を共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		日々の支援に関して丁寧な記録をとって課題を共有している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4		定期的にモニタリングを実施し児童発達支援計画の見直しを行い保護者に提示している。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4		サービス担当者会議に利用児童の状況を把握したものが出席して話し合いに参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4		医療的ケアが必要な児童がたくさん在籍している。医療機関、障害福祉、訪問看護、訪問リハ、相談支援等との連携を実施している。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4		主治医や協力医療機関との連携体制を整えている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4		移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)と連携し情報共有している。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		必要に応じて他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所と連携し助言を受けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4		積極的に外に出る活動を取り入れている。障がいのない子どもとの交流については課題である。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	1	協議会への参加については今後の課題である。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4		日ごろから保護者と子どもの状況を伝えあい共通理解を得るようにしている。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	4	ペアレントトレーニングについては今後の課題である。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		契約時に運営規程や利用者負担について丁寧に説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4		児童発達支援計画について保護者に提示し同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4		定期的ではないが保護者からの悩みについてはお聞きし相談に応じている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	コロナやそのほかの感染症が収まらずなかなか父母の会が実施できていない。今後の課題である。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4		保護者からの相談や申入れについては、対応の体制を整備して契約時に周知している。また相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		定期的に活動計画を配布している。またFacebookで活動の内容を発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4		個人情報の扱いには十分注意している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達には十分配慮をしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4		秋に芋ほりの行事への参加を広く呼びかけた皆さんの参加者に来ていただいた。

非常 時 等 の 対 応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定している。また発生を想定した訓練を定期的実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	非常災害発生に備え定期的に避難訓練を実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4	事前に医療的ケア、服薬、発作等の状況を把握している。また医療的ケアの実施については医師の指示書に基づいて実施している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	食物アレルギーについて把握し医師の指示通りに対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	ヒヤリハット集を作成し情報共有を行い再発防止に努めている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	虐待防止・障がい者の権利擁護に関する研修を実施している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	身体拘束は行わない。